学校番号	315

令和８年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道・筆文字アート	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道の幅広い活動を通して、書の伝統と文化に理解を深めるとともに、感性を働かせて、能動的に、表現を構想し作品の意味や価値を見出したりする学習をめざします。

2　学習の到達目標

〃書道の創造的な活動を通して、生活や社会の中の多様な文字や書、書の伝統と文化に関わる資質・能力を育成することをめざす。

(1)書の表現の方法や形式、多様性などに理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、創造的に表現するための技能を身に付けるようにする。

(2)書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に深く構想し個性豊かに表現を工夫し、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようになる。

(3)主体的に書の創造的な活動に取り組み、感性を磨き、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに書の伝統と文化を尊重し、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現の方法や形式、多様性に理解を深め、創造的に表現する技能を身に付け、表している。	意図に基づいて創造的な表現を工夫したり、書の美を味わい深く捉えたりしている。	主体的に筆文字の表現活動に取り組み、心豊かに社会を創造していく態度を養おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	導入	画仙紙に馴れる。 大作の執筆・用筆・運筆法に馴れる。 全紙大の画仙紙に臨書する。	a:毛筆の機能に馴れるよう工夫している。 b:線質・字形・構成等に理解を深めている。 c:作品の相互鑑賞で自らの学びを深めようとしている。	作品 振り返りシート	作品 振り返りシート	作品 振り返りシート 観察
	出品作品制作①	大阪府高校芸文祭書道部門への出品作品を制作する。 臨書・創作の２点を制作する。	a:表現の意図を明確に理解している。 b:線質・字形・構成等に理解を深めている。 c:作品の相互鑑賞で自らの学びを深めようとしている。	作品 振り返りシート	作品 振り返りシート	作品 振り返りシート 観察
2	出品作品制作②	全大阪書道コンクールへの出品作品を制作する。 臨書・創作の２点を制作する。	a:表現の意図を明確に理解している。 b:線質・字形・構成等に理解を深めている。 c:作品の相互鑑賞で自らの学びを深めようとしている。	作品 振り返りシート	作品 振り返りシート	作品 振り返りシート 観察
	卒業作品制作	卒業にあたり、高校生活を総括する書作品を制作し、校内に展示する。恩師・友人に鑑賞してもらう。	a:表現の意図を明確に理解している。 b:線質・字形・構成等に理解を深めている。 c:作品の相互鑑賞で自らの学びを深めようとしている。	作品 振り返りシート	作品 振り返りシート	作品 振り返りシート 観察
3	卒業記念作品制作	家族や恩師、友人への感謝の気持ちを色紙に揮毫し、贈呈する。	a:表現の意図を明確に理解している。 b:線質・字形・構成等に理解を深めている。 c:作品の相互鑑賞で自らの学びを深めようとしている。	作品 振り返りシート	作品 振り返りシート	作品 振り返りシート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度